

八丈島 水産だより

8月号

2013



ハイビスカス



底土海水浴場のようす

関東地方は例年より半月ほど早い梅雨明けとなり、八丈島でもまぶしい日差しが振り注いでいます。夏休みに入り、連日多くの来島者で空港や船客待合所がにぎわっています。お盆には、家族や親族が島に戻り、花火大会や盆踊りなどを楽しまします。島で打ち上げられる花火は、街灯などの光の影響が少なく、夜空にくっきりと浮び上がり、とてもきれいです。

■ムロアジ漁がはじまりました

今月1日からムロアジ（クサヤモロ）の棒受け網漁がはじまりました。昨年は台風など、荒天のため海に出られない日が多く、漁獲量が少なかったです。

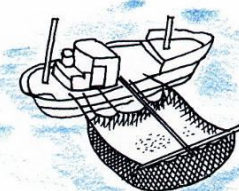
島しょ農林水産総合センター八丈事業所による事前調査では、今年は、この時期としてはやや大きいサイズが多いとの結果が出ています。12月末までの漁の期間、天候が安定し、出漁日が増え、豊漁になることを願います。



操業のようす



クサヤモロ



棒受け網漁

■栄養士さんの研修を行いました



調理実習



アシタバ畑の見学

都内小中学校の栄養士さんを対象とした給食用地場産物生産現場研修を実施しました。給食で使うムロアジやアシタバがどのように漁獲、栽培されているのかを、実際に見て、より理解し活用してもらうためのものです。

また、漁協女性部が講師となり、ムロアジのメンチカツやトビウオのすり身汁などの調理実習も行いました。

